

まちづくり懇談会（平成29年10月16日～11月2日開催）

1 開催日、参加人数等について

開催日	開催時間	会 場	参加者（人）		
			合計	男性	女性
10/16（月）	午後2時	総合福祉センター	13	9	4
	午後6時	北日本多目的センター	5	5	0
10/20（金）	午後2時	頼城多目的研修センター	11	6	5
	午後6時	啓南多目的研修センター	14	10	4
10/26（木）	午後2時	新城多目的研修センター	5	0	5
	午後6時	常磐多目的研修センター	5	4	1
10/27（金）	午後2時	野花南生活改善センター	14	4	10
	午後6時	上芦別多目的研修センター	0	0	0
11/2（木）	午後6時	総合福祉センター	31	21	10

2 テーマ及び内容

- (1) 林業学校の誘致について
- (2) 防災対策について
- (3) 医師確保の状況について
- (4) 行財政改革の推進について
- (5) まち・ひと・しごと創生総合戦略について
- (6) JR 根室線の維持・存続問題について など
- (7) その他市政全般に関わる意見交換

3 各会場の主な内容について

10/16（月） 総合福祉センター（14:00～15:20）	
質 問 ・ 意 見 等	市 の 回 答
<p>●林業学校の設立に関して、北海道がその方針を公表した時期を教えてください。</p> <p>●昨年8月の台風の際に流木により橋が壊れた所があるが、森林の手入れに問題があると思っており、このようなことから道内に、可能であれば芦別市に林業学校ができれば良いと思っており、我々市民も、できることは協力させていただく。</p> <p>●行財政改革の説明において、財政調整基金として7億円を確保したいという話があり、万が一の備えという考え方も理解できるが、今の時代、貯金をして利率も低くメリットがないため、余計に貯金するのではなく、合宿の里事業など地方創生の取り組みにお金を使い、芦別に人が来るようにしていただきたい。 旭ヶ丘公園も遊歩道やサル山を充実させて良い公園にしてほしい。お金を使うと市民は元気が出るためよろしくお願いしたい。 (意見)</p> <p>●お墓について、私は芦別市営墓地を利用しているが、高齢ということもあり、そろそろお墓を閉めて区画を市に返還したいと考えている。 桜が丘霊園では区画整備を行っているが、私のような考えを持った者も他にいると思うので、遺骨を収めるための共同墓地を、市で検討していただけるとありがたい。</p>	<p>●北海道知事は、本年の3月定例道議会において林業学校の設立を検討する旨の答弁をし、また、6月定例道議会では具体的に検討を進めることを表明しました。 年内には林業学校に関する基本的な考え方が示される予定であり、現在、有識者会議において検討されている状況です。</p> <p>●本市は、林業学校の誘致に関して先陣を切って取り組んできた経過があり、誘致期成会、市議会、市が三者一体で取り組んでいる状況であり、先般、知事に対して要望書を提出したところです。一方で、現在、誘致に名乗りを上げている自治体が複数あり、いずれも、振興局単位の運動となっています。空知については、複数手を挙げている状況ですが連携を図っていきたいと考えています。</p> <p>●合葬に関しては、過去に市において検討した経過はありますが、東頼城のお寺において同様の取組があると聞いていますので、現在のところ、市としては検討する状況にはないということをご理解願います。</p>

10/16 (月) 北日本多目的センター (18:00~19:10)

質問・意見等	市の回答
<p>●林業学校について、何年制で定員は何名なのか。また、専門学校という位置づけなのか教えていただきたい。</p> <p>●市立病院について、医師が7名体制となったが、私が月曜日に整形外科に通院したときは午後からの診察であったため、午前中に受付を済ませようとしたがカードでの受け付けができなかった。診察日が月・水・金と増えたところであるが、待ち時間はほとんど変わっていないので、便利になった実感はない。</p>	<p>●現在、道内には岩見沢市、旭川市、帯広市の農業高校に森林科学科はありますが、高卒以上が通う専門的な学校はない状況です。</p> <p>全国では18都府県に1年制や2年制の林業学校がありますが、北海道の林業学校は、今年度中に規模や定員、講師等について検討のうえ方向性が示される予定です。なお、全国の状況を踏まえると2年制で1学年20名の定員になるものと思われます。</p> <p>●月曜日の午後診療について、以前は大学病院から来ていたので午前診療でしたが、現在は、砂川市立病院から午前診療を終えた医師が来ているため午後診療となっています。</p> <p>午後診療の場合は、午前中にカードによる受け付けはできません。待ち時間については、患者数も増えていますが長いという苦情は無くなっているため、緩和されたものと思います。</p> <p>今後ご意見等を伝えていただき改善に向け努力したいと考えています。</p>

10/20 (金) 頼城多目的研修センター (14:00~15:20)

質問・意見等	市の回答
<p>●道立林業学校の設立に関しては、是非、実現してほしい施策だと思っている。そこで本市の林業に係る施策ですが、一つ目として、スターライトホテルに導入されている木質チップボイラーはホテル側も燃料供給事業者も喜んでいると聞いている。しかし、その後は木質チップ燃料の利用施設が増えていないため、燃料供給事業者の事業拡大につながっていない。次に、旧青少年会館の改築について、材料のほとんどにアルミ材が使われており、木材が全然使われていない。</p> <p>今、林業学校を誘致するくらい木について見直そうとしている中で、木を活用していないのはいかがなものかと思っている。</p>	<p>●スターライトホテルの次の木質チップボイラーですが、市立病院を中心とした一群の施設に木質チップボイラーを導入できないか検証したところです。対象となる施設は、市立病院、すばる、子どもセンター、市民会館、青年センターですが、専門業者を交えて検証したところ、施設間の距離が離れているため、設備投資額が大きいわりに効果が少ないということで断念しました。次に、木質チップボイラーの木質チップ燃料を製造している組合に対して、どこまで増産が可能か確認したところ、現在、スターライトホテルに年間2800t納めており、その1.5倍で、プラス1400tと聞いています。そのうえで再度検討したところ、施設間の距離が短い市立病院とすばるであれば、年間1800t必要になり、1400tよりも少しオーバーしますが、これらの施設のボイラーの更新時期までに、木質チップボイラーを導入できないか、さらに検証を深めているところです。次に旧青少年会館の改修に木が使われていないという部分ですが、我々も残念ですが、そこまで至らなか</p>

質 問 ・ 意 見 等	市 の 回 答
<p>●頼城の山側ですが、ある日突然木の伐採が始まり、私たちは何が計画されているのかまったく聞かされていなかった。たまたま東町の会長さんから話を聞いたが、雑木を切って成長の早い樹木を植えるということであった。端的に言うと、そういうことは、事前に地域に説明するべきである。現在は、木は伐りっぱなし、枝は山積み状態である。これから雪が降る時期となるため、地域に対する丁寧な説明があってもよいと思う。</p> <p>●防災対策に関してですが、星槎大学から旧青少年会館までメガソーラーが続いていますが、その区間に4つの土砂災害警戒区域があります。現在、工事中なので完成後の状態がよくわかりませんが、それまであった排水路がなくなり、星槎大学から東町への道路にあったコンクリート製の排水路は撤去されました。結果として、水が流れる場所がない状態で、お寺の前の道路には雨水が流れており、それ以外は国道の側溝に落ちるため、太陽光パネルの施工業者が土嚢をもってきて止めてはいますが、あの状態がいつまで続くのか、完成した時には排水路が整備されるのか、私たちは全く聞いていません。</p> <p>先日、市の担当者から電話があり、業者が作成した説明文書が広報11月号と一緒に配布されると言っていたが、昨年6月に地元で説明会があったときは、あれだけの盛り土をするという説明はなく、結果的に雨水がお寺の前まで流れてくるといった状況になった。工事を実施するにあたって、市と業者との間でど</p>	<p>ったところですが。ただ、上芦別のさつき団地は、芦別産のカラマツ材をすべて使っています。次の取り組みとして、溪水町のすみれ団地の建替え計画で同じような形で進めていく考えです。来年度から4年計画で7棟40戸、加えて集会所の整備もあります。残念ながら頼城には木造施設がありませんが、市全体としてはこのような方向で考えているところです。</p> <p>●事前説明がなかったことについて大変申し訳なく思っています。計画の内容ですが、2ヘクタール弱の土地に木質チップボイラーの燃料を、将来にわたって安定的に供給するために、成長の早い木を植えて実験したいという考えです。通常の木ですと、カラマツでも伐期まで40年から50年かかります。トドマツですと50年から60年かかります。このため20年程度で収穫できる泥柳という木を実験的に植えています。その苗木を4700本ほど植えて下草刈り・間伐を行い20年後には収穫したいと考えています。説明が事後になってしまい大変申し訳なく思っています。</p> <p>●市も、あのように盛り土をするという話は聞いていませんでした。</p> <p>市としてはあのような状況を見て、担当部署においても確認しましたが、太陽光パネルは法律上規制のできない設備であることがわかりました。建物であれば都市計画法上、開発行為の許可をとって、雨水の処理に関しても図面を作成する必要がありますが、太陽光パネルは法律の対象外であるため、規制することができない状況です。しかしながら、市の担当部署から申し入れを行い、一端工事を止めていただき排水対策を行っていただいていると思いますが、市としては法律の範囲外であるため検査確認ができない状況です。</p> <p>この件については、地域から懸念の声、心配の声があることを、市長からも施設を管理している会社に伝え、善処してもらおうようにしたいと思います。</p>

質問・意見等	市の回答
<p>のような話し合いがされているのか、あのやり方が良いのかどうなのか私たちは全く分からない。最近、集中豪雨もよく発生し、その時に山が崩れると国道に土砂が出てくると思うので、あのよう工事のやり方を心配しています。市ではどのように考えているのかお聞きしたい。</p>	

10/20（金） 啓南多目的研修センター（18:00～19:10）

質問・意見等	市の回答
<p>●道立林業学校の誘致について、生徒の人数は何名で計画されているのか。学校は新しく新設するのか、それとも旧常磐小学校や旧野花南小学校の再利用を考えているのか。</p> <p>また、生徒の住居を確保する必要があると思うが、市として住居はどのように考えているのか教えていただきたい。</p> <p>●国道452号の道路について、三笠市へ向かうまでは、追越しができない程の交通量がある。しかし、途中から夕張方向に入ると橋の架替えや急カーブの道路を直線にする工事をしていたが、この区間はとても交通量が少なく対向車もほとんどない状況であった。交通量が少ない部分に予算を付けるよりも、未開通部分に予算を付けていただき、早期に開通するよう要望を上げていただきたい。</p> <p>現在、芦別側の工事の状況がどの程度行われており、どの位の予算なのか。分かる範囲で教えていただきたい。</p> <p>●市職員の方々に芦別の魅力について伺いたい。私が思う本市の魅力は、災害や地震が少ないところである。今までに私が考える大きな災害は、滝里ダムが建設される前の滝里町で起きた水害であると思っており、それ以外、芦</p>	<p>●現在、道では有識者会議を設置して林業学校の在り方について検討しています。</p> <p>全国の状況を見ますと2年制で1学年20名、2学年で40名となっています。校舎については、道に対し旧常磐小学校や旧野花南小学校の利用が可能であることを示しています。次に、生徒の住居ですが、市としては民間アパート等を斡旋する考えですが、市有住宅を貸すことも可能であると考えています。場合によっては北日本自動車学校の学生寮を利用させてもらえないか検討する必要があると考えています。</p> <p>●夕張側の国道452号は、シューパロダムに関連する工事により、既設の道路が水没することから橋と道路の工事を行っています。</p> <p>また、三笠方面についても新桂沢ダムの嵩上げ工事に伴い、既設の道路が水没することから道路工事を行っています。芦別側の工事については、昨年度は約5億円、今年度は約7億円の予算が計上され、年々、工事予算は増加しています。現在、実施している工事は、未開通区間となっている12.9kmの道路本体部分ですが、工事区間が地滑り区域であることから、その対策工法として直径60cmの抑止杭を打ち、地すべりが止まるかについて検証しています。本市としても、この道路が早期に開通するよう市長を先頭に要望活動を行っており、今後も関係機関へ対し同様の要望を行う予定です。</p> <p>●芦別の魅力について、豊かな自然や食に関してはとても素晴らしいと思います。大阪に本社のある大旺鋼球製造(株)の社長からは、将来、南海プレレートによる地震の発生も考えられるため、地震リスクの少ない本市に工場</p>

質 問 ・ 意 見 等	市 の 回 答
<p>別で大きな災害があった記憶はない。</p> <p>次に、道の駅について、国道側にあった木を伐採し道の駅が見やすくなったと思っているが、小さな土手になっている斜めの花壇に花で「あしべつし」又は、「星の降る里・芦別」の文字を描くとまちの宣伝になって良いと思う。車から見ると目線がちょうど良い高さになるため効果があると思う。</p> <p>次に、旭町油谷にあるテニスコートについて、今の状態では観光客はあの施設を利用できないと考える。芦別には、他にも良い施設がたくさんあるが利用されていないため勿体無いと思っている。若者は、SNS（インターネット）などを使い多くの方々に情報発信を行っている。芦別をPRするためにそのような情報手段を使い宣伝することを考えてみてほしい。</p> <p>次に、道の駅のエレベーターの設置について、2階にレストランがあるが高齢の方などはエレベーターが無ければ利用しづらいためエレベーターの設置を検討していただきたい。</p>	<p>部門の移転を考えたと同っています。</p> <p>また、今年中に東京に本社があるソフトウェア会社が本市に進出することが決まっております。災害が少ないことや食が良いことを言っています。</p> <p>次に、道の駅の花壇については、貴重なご意見をいただいたので今後に向け検討します。</p> <p>また、油谷にあるテニスコートについて、状況を確認させていただきます。</p> <p>次に、道の駅のエレベーターの設置については、本市の財政状況が厳しいため現段階では設置するとは言えませんが、補助事業など財源の確保が可能かどうかも含めて検討したいと考えています。</p>

10/26（木） 新城多目的研修センター（14:00～15:30）	
質 問 ・ 意 見 等	市 の 回 答
<p>●行財政改革の推進について、市立病院と芦別振興公社に対する経営支援が財政負担の増加の原因として資料に記載されているが、その他にカナディアンワールドに係る費用も負担になっていると思いますが、年間、どれくらいの費用が発生しているのか教えていただきたい。また、芦別振興公社から市に対して、年間どれくらい返済されているのか教えていただきたい。</p> <p>●市は市立病院に対して、年間どれくらい財政支援しているのか教えていただきたい。</p>	<p>●カナディアンワールドに関しては、年間1億7千万円支払っておりまして、平成38年度まで続きます。資料には触れていませんが財政負担となっています。</p> <p>また、振興公社に対しては市から3億1千5百万円貸付してありまして、今年度から毎年525万円返済されることになっています。</p> <p>●平成28年度は年間で6億9千万円の財政支援をしています。このうち基準外（ルール分以外）の経営支援が2億7千万円ありますが、他の自治体についても、それなりの金額で経営支援している状況です。</p> <p>これまで、病院へは基準外の支援はあまり多くありませんでしたが、医師不足による医業収益の落ち込み、積立金の減少により平成24年度から基準外の支援が増えている状況です。</p>

質 問 ・ 意 見 等	市 の 回 答
<p>●市の財政が厳しいことは理解できますが、固定資産税が他の市町村よりも高いと認識している。今後、財政が悪化するとさらに市税が上がる可能性があると思っているが、いかがでしょうか。</p> <p>●子育てに関して、現在、市立病院には小児科や産婦人科がなく、新聞報道にあったように、滝川市でも小児科や産婦人科がなくなるという話がある。このような中で、この地域に若い人が来るとは思わない。子供がいなくなるということは人口が減ることに繋がるため、市立病院に小児科や産婦人科を誘致する考えはないのかお聞きしたい。</p> <p>●消防が広域になったが、先日、救急車を呼ぶため携帯電話で119番にかけた際に旭川市の消防に繋がり、その後、滝川市の消防に回されました。なぜ、このようなことになるのか教えていただきたい。もう一点、119番が込み合っているときは、どこに繋がるのか教えていただきたい。</p> <p>●国道452号について整備が進んでいないと思うが、現在はどのような進捗状況なのかお聞きしたい。</p>	<p>●過去には、行財政改革の一環として固定資産税の税率が他の自治体よりも高い状態にありましたが、現在は、下がっており他の自治体に比べて高いという状態ではありません。また、今後においても、税率を上げるという考えはありません。</p> <p>行財政改革の考え方につきましては、市の業務の民間委託化や組織をスリム化することにより経費節減を目指しており、市民負担を求めて歳入を増やすということではありませんのでご理解願います。</p> <p>●まず、市立病院の中に産婦人科・分娩体制を設けることは医師不足の状況下において困難であると考えています。北・中空知でも分娩できるのは砂川市立病院しかなく厳しい状況です。小児科も減ってきている状況ですが、当院としては、医師確保の中で小児科医の確保に向けて引き続き努力していきたいと考えています。</p> <p>●携帯電話から119番にかけると、電波の一番良いアンテナに飛ぶため、旭川圏に近いアンテナが設置されているエリアでは、電話をかけると旭川市の消防に繋がってしまいます。固定電話の場合はゼンリン地図と電話番号が関連しているため、旭川に繋がることはありません。その他、滝川市の消防には電話回線が4回線しかありませんので、5回線目になると音声ガイダンスが流れ、保留状態となります。</p> <p>●先日、現場を視察しましたが地滑り地帯であるため抑止杭を施工している状況であり、3年間で90本、全体で180本が予定され、現地の状況を確認しながら作業を行っているため、予算があったとしても、なかなか道路本体の工事にかかれないう状況です。芦別にとってこの道路は、観光、流通、十勝岳噴火の際の避難経路として有効的な路線であるため、関係機関に要望していきたいと考えています。</p> <p>抑止杭の工事が終わればトンネル(2箇所)や橋(5箇所)の工事に取り掛かれると思いますが、芦別側の工事が地滑り等で難航しており、なかなか進まない状況です。</p> <p>一方で、国道452号線において形に見えるものを要望しており、三段滝のトイレについては、芦別を通過しない人のために本市が</p>

質 問 ・ 意 見 等	市 の 回 答
<p>●芦別振興公社について、市から3億1千5百万円借り入れしていて、毎年525万円を返済するとなると完済までに30年間かかる。経営責任の問題も残っていると思っていますし、長くても10年くらいで返済しなければ、後世につけを残すことになると考えている。</p>	<p>費用負担していることから、道道美唄富良野線の開通のタイミングで、国・道・市の三者一体で道の駅のように「滝の道」としての環境整備を要望したいと考えています。</p> <p>また、旭町から油谷への道路について幅員が狭く歩道もないため、車の通行、さらにはジョギング、ウォーキング等で危険な状態にあることから、プラスアルファとして整備していただくため要望したいと考えています。</p> <p>加えて、道道芦別美瑛線についても、国道452号の開通がまだ先であるため、それに代わって道道芦別美瑛線の整備促進も要望していきたいと考えています。</p> <p>●芦別振興公社については、収益事業が限られているため年間525万円を60年間かけて返済することになっており、この債務の問題に関しては見直しの必要性も感じています。また、スキー場の廃止の問題もあり従業員の雇用のことも考えていく必要があります。</p> <p>このようなことも含め、総合的に判断したうえで年度内に振興公社の在り方をお示したと考えています。経営責任のお話については、遡って云々ということではなく、私の立場で考えていく問題でありますので、市民の皆さんのご意見をいただきながら、行政と議会が責任をもって解決していきたいと考えています。</p>

10/26 (木) 常磐多目的研修センター (18:00~19:15)	
質 問 ・ 意 見 等	市 の 回 答
<p>●道立林業学校の誘致について、空知管内の美唄市と連携を図る内容、加えて、誘致に向けて協議の状況について伺いたい。</p> <p>●三角橋の工事が着工し、また、昨年8月の災害時の対応が早かったことなど、市にはとても良くやっていただいている。また、林業学</p>	<p>●林業学校の必要性に関しては5年前から訴えてきており、学校誘致に向けては昨年、期成会を設立し関係機関へ要請を行っているところです。他の状況としては、振興局単位での活動を進めており、空知管内で本市と美唄市の2市が手を上げていることから、双方で話し合いの場を設けて進めていく考えを持っています。本市は、森林面積が広く小学校跡地の活用が可能であることを訴えており、学校が誘致できれば学生が来て地域の活性化に繋がることから、市民の方にも協力いただき進めていきたいと考えています。</p> <p>●林業学校の署名について、常磐地区のほとんどの方が対応いただいていることに対し感謝申し上げます。校舎についても本市に決ま</p>

質 問 ・ 意 見 等	市 の 回 答
<p>校については、芦別に誘致されることを願っており、常磐町内会では署名も99.9%程集めたところである。この地区には旧常磐小学校の跡地があることから活用していただければと思っている。要望として、平班橋に向かう市道の草刈りをもう少し丁寧をお願いしたい。また、橋の付近にテレビなどのごみが捨ててあるので処理をお願いしたい。また、常磐墓地について、周辺が高い木で覆われており、道路から墓地を見ることができない状況である。土地所有者は知っているが、市でその対応等ができないのか伺いたい。</p> <p>●市道常磐御料線で、側溝が詰まっている箇所があるので見ていただきたい。また、ごみもあるのでパトロール時にでも確認していただき対応をお願いしたい。国、道、市で行う草刈りなど基準がバラバラで統一性がないので、奈井江町のように各所管の管理を一手に委託を受けて実施することができないか。そうならば一定程度、同基準で管理できると思っている。本市の出生率が低くなっており、年間50～60名程であるとの説明があった。少子高齢化とも言われており、上芦別小や啓成中では子ども達の人数が少ないことから、部活動ができない状況となっている。今後、市内の小・中学校併せて2校体制（統合）になれば、そのような問題も解決できると思うので市の考えを教えてください。部活では、合同チームとして参加が可能になればと考えるが、練習などの送り迎え時に事故があった場合の責任問題等もあり難しいと思っている。</p>	<p>れば旧常磐小学校若しくは旧野花南小学校の跡地を再利用するよう考えています。常磐墓地の木については、担当課とも調整し現地を確認してから対応が可能なものか検討させていただきます。</p> <p>市道の草刈りについては機械で実施しており、その性能や現地の状況によっては草が残ることもあります。また、全てをきれいに処理するとなれば人力により刈払機を使って行う必要があることから、何処までできるのか現地を確認して検討させていただきます。ごみについては、橋の前後に捨てる人がいて市でも何度か処理している状況です。これからも道路パトロールで注意しますが、そのような状況があれば市の方へ連絡をいただければ早急な対応を図っていきたいと考えています。</p> <p>●御料線については、早速現地を確認して対応したいと考えています。なお、これまでも国、道との連絡体制については、管理委託を受けている業者と連絡を取って対応しているところであり、他に良い事例等があれば報告願います。</p> <p>出生数について、平成24年度は74名、平成27年度は49名、平成28年度は52名となっており減少しているため少子高齢化は深刻な問題となっています。</p> <p>また、現在、小学校の生徒数は2校412名の1学年あたり約70名、中学校の生徒数は2校240名で1学年あたり80名となっています。部活の問題で合同チームでの出場も考えられるが、移動時や責任問題等があるので、環境整備が必要と考えています。学校の統合については、一定の基準に基づき配置されているところです。しかしながら、諸問題がありますので、様々な角度から慎重に考える必要があると考えています。</p>

10/27（金） 野花南生活改善センター（14:00～15:20）

質問・意見等	市の回答
<p>●林業学校については、現在、誘致活動が進められておりますが、設立は何年後になるのか見通しについて教えていただきたい。以前から、旧野花南小学校については再利用を市に要望していますが、地元としては林業学校として活用していただくことで活性化し、高齢化が進んでいる町にも活力が生まれればよいと思っている。</p> <p>●学校の再活用ですが、先日の北海道新聞の空知版に赤平市において旧小学校をコミュニティー施設として再利用するという記事が載っていたが、芦別においてこのような考え方</p>	<p>●林業学校の見通しですが、今、北海道がその必要性を認めていて、年内には基本的なあり方が示されると伺っており、学校の在り方や教育の課程、施設、運営体制等について、現在、有識者会議において検討されている状況です。最終的には1月くらいに結論ができるように伺っていますが、北海道としては、有識者会議の結果を受けて最終的な考え方を示すことになっていきます。そこで、北海道は広いため、道内に一つの拠点を作ったとしてもサテライトのような圏域ごとに受け皿を作っていかなければ、北海道全体の森林を活用するのは難しいと有識者会議でも意見があるようです。来年1月の段階で一つの考え方が示され、その後においてどれくらいの期間がかかるかわかりませんが、先進地視察での情報によりますと、2年くらいはかかるという話もあります。したがって、方向付けがされた段階においては、来年度は調査なり、具体的な方向付けがされますが、実際の整備には時間がかかると思いますので、やはり2年先かなと思っています。本市においては議会、期成会と連名で8月には知事あてに要望書を提出したところであり、その中に候補地として学校を使っていたかどうかということで旧野花南小学校、或いは旧常磐小学校を施設として提示させていただいています。</p> <p>施設については新たに作るというよりも、今あるものを使っただけ考えであり、様々な考え方を知事に示しています。ご案内のとおり道内各地で誘致の声があがってきており、空知からも美唄市が手を挙げていますが、空知総合振興局としては同じ空知から2つの自治体が手を挙げるのはつらい話ですし、むしろ、空知以外にもっていかれる前に本市と美唄市が連携をして、空知に学校を誘致するため、振興局が間に入り進めようとしているところです。</p> <p>いずれにしても先の見えない状況ですが、一昨年から道内ではトップランナーとして行動を進めていますので、しっかりとゴールを目指していきたいと考えています。</p> <p>●旧野花南小学校については、公売に付した経過があります。一時期、民間企業が使いたいという動きがありましたので、入札いただけると思っておりましたが、状況が変わり、購入</p>

質 問 ・ 意 見 等	市 の 回 答
<p>を持っていれば教えていただきたい。</p> <p>●お願いですが、町内会活動を支えているのが老人クラブのメンバーです。老人クラブ連合会では年2回ほど旅行していますが、2年ほど前にバスの交通事故があり、そのことがきっかけとなり、平成27年7月から遠距離バス料金が値上げになり思うような旅行ができなくなった。市から活動資金ということでいただいている補助金については、バス料金が上がっても補助率は変わらず、我々としても大変な思いをしております、老人クラブ連合会としても市に要請書を出すことを検討している。市の財政が厳しいのは承知しているが、高齢者に対しても手を差し伸べていただきたい、要請書が提出された際には少しでも補助金を上げていただきたい。</p> <p>●交通の便についてですが、今年の春に運転免許証を返納したところ、同時期に2時台のJRがなくなったため、朝病院に行っても帰りのJRがなく不便である。地域の皆さんも2時台のJRがなくなったことについて不便だと言っている。このままでは高齢者は免許を返納することはできない。上芦別はバスが走っているが野花南はバスが来ない。一日に何回か走っていただければ高齢者も安心して生活できると思うので、良い方法を考えていただきたい。</p>	<p>いただけませんでした。したがって、今、考えているのは林業学校として使っていただきたいと思いながらも2年先、3年先の話です。</p> <p>現時点では、公共施設としての活用は考えていませんが、再度公売も含めて様々な角度で学校の活用方法を検討していきたいと考えています。</p> <p>●詳細を把握しておりませんが、老人クラブ連合会から要請書が提出されましたら内容を十分検討させていただき、平成27年度以降のバス料金の値上げが会の運営にどのような影響を及ぼしているのか確認をさせていただくなど、本日の話を気に留めながら検討させていただきますのでご理解願います。</p> <p>●これからも免許証の返納は進んでいくと思いますが、同時に、生活の足のことを一緒に考えるのは当然だと思います。広い芦別の中で住民の方々の生活の足をどのように確保するのか、いろいろな組み合わせがあると思いますが、JRやバスが十分でない場合に、どのように隙間を埋めていくのかという点について、地域公共交通という視点で、地域の皆様が免許証を返納した際の生活の足について全市的に考えていく必要があると思っています。</p> <p>この件についてはお金の有る無しに関わらず生活の基盤であるため、内部でも在り方をしっかりと検討させていただきます。</p>

11/2（木） 総合福祉センター（18:00～19:00）

質問・意見等	市の回答
<p>●先日、生活館で葬儀があった時に3人の方が靴を間違えていた。他の町から来た人や高齢者の事を考えて、生活館を土足にしていただけないか。</p> <p>●先日、町内会の会議で新ひだか町に行ってきたが、自分は防災部門に参加しいろいろ話を聞いてきた。その中で、新ひだか町は日高、静内、三石が合併して出来た比較的新しい町のため、沿岸部で津波の被害を受けやすい地区ではあるものの、そのような防災対策が進んでいないことがわかり、改めて芦別は防災対策において相当進んでいると感じたところである。ただ、芦別は災害の少ないところであるため、市民の危機感が足りない部分があり、防災研修などでスライドなどを見ても今一つ実感がわかないというのが本当のところだと思うので、その辺を踏まえて市の方も防災の取り組みを行ってほしいと思う。</p> <p>●市長にお願いですが、これから芦別は老人が増えるので、市内を一人で散歩している老人に対しての、町内での声かけ運動、あいさつ運動を行ってはどうでしょうか。</p>	<p>●本町生活館の環境整備ということですが、そのような間違いがあるということは、何かの原因があるということですし、高齢者の方々の利用も相当増えていることも承知していますので、いろいろアイデアをいただいて、また私共もその辺を研究させていただいて、間違いのないよう工夫していきますので、ご提言をいただきたいと思います。</p> <p>●防災対策については、年に1回各地域で防災訓練を実施しており、今回は啓南地区、前回は頼城地区とその地域、地域でいろんな形を想定して防災訓練を行っています。我々もその訓練が市民の方々に完全に浸透しているかという難しい面はありますが、今後この取組を各地域に広げながら市民の方に防災意識を持っていただけるよう進めていきたいと考えています。参考までに、先般駅裏のケアハウスと土砂災害に係る避難訓練を実施したところです。このように住民のみではなく、医療機関とも連携を図りながら防災対策を進めていきたいと考えています。</p> <p>●あいさつは基本中の基本で大事なことだと思っています。それが日常的にされるということは、お互い気持ちの良いことであり、コミュニケーションだと思っていますが、これをどういった形で進めるかは、行政というよりむしろ地域の皆様方が盛り上げていただいて、いろんな形で高齢者への接触、対応というのはそれぞれ地域であると思いますが、あえてせっかくいただいたお話しですので、市としてもそのような方向に向かって機会をみて、推進していきたいと考えています。</p>